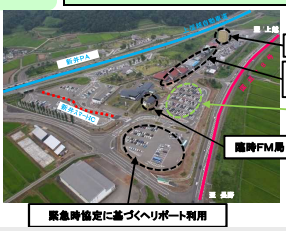
道の駅「あらい」　新潟県妙高市

○豪雪地帯にあって、環境・観光にも配慮した新たな防災拠点としての「道の駅」
○降積雪期の大規模災害発生時に、駐車場の一部を立体化しておくことで、臨時避難場所や物資保管場所として利用
　また、近隣のメガソーラー発電所と接続し、EV車も電源車として災害時に活用

＜地方創生拠点としての機能＞
地域センター型

防災	インバウンド観光	観光総合窓口
地域・広域災害への支援基地機能	北陸新幹線新駅・国立公園の独立との連携	地域資源をつなげるネットワーク構築



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
あらい	新潟県	妙高市	国道18号	既設	平成12年	一体型

駐車場立体化（スノーシェルター化）

【平常時】多客時の収用、冬期バリアフリー対応
【災害時】冬期など天候に影響されず、1階部分を臨時避難所や物資補完、積み替えに活用

メガソーラーとEV車を活用した電力供給

【平常時】EV対応充電設備の設置
道の駅連絡用としてEV車を活用　など
【災害時】メガソーラと連携しEV車による電力供給

地域の概要

① 過去に災害を経験した自然豊かな豪雪地帯
・中越沖地震、豪雪、融雪災害（土砂崩れ）等を経験 → **雪や環境に対応した防災拠点が急務**

② 海にも山にも近い、交通結節点に「道の駅」が立地
・国道と高速が直結し、新幹線新駅も新設 → **防災拠点として道の駅がベスト**

③ スキーや日本らしさ（国立公園等）を求めてくる外国人客の増加
・外国人客（H18:350人→H25:2万人）→ **観光客にも安心な防災拠点が必要**

直売所・レストラン
【平常時】農産品等の直売
【災害時】避難者等への無償提供

FM協定放送
【平常時】観光情報等提供
【災害時】災害情報提供

ホテル
【平常時】宿泊施設
【災害時】避難者等への無償提供

公園
【平常時】水遊び場等
【災害時】緊急時の貯水機能

＜提案の先駆性・ポイント＞

新たな防災拠点
■「雪」に対応した防災機能強化
　・駐車場立体化によるスノーシェルター化
　・EV車による消雪設備等への電力供給等
■「環境」「観光」に配慮した防災機能強化
　・メガソーラーと連携しEV車を災害時に活用
　・観光客への防災情報提供（外国人対応）
　・平常時の観光施設を災害時にも無駄なく利用

＜実施内容＞

○地域住民に加え、観光客へも対応した1次避難機能強化
　・駐車場立体化、無線LAN整備（立体化駐車場内含む）
○外国人案内所、ATM、農産品直売所の拡充等の機能充実、旅行企画提供など
○避難所、支援部隊の基地機能（ハブ基地機能含む）の向上
　・直売所等と連携した飲食、宿泊提供
　・スマートIC 24時間化　など
○メガソーラーとEV車を活用した災害時の電力供給拠点機能
　・メガソーラー発電所との連携による非常時の電力供給協定・システム構築
　・EV充電器整備、EV車の災害時活用　など

道の駅 あらい が重点「道の駅」に選定されました

道の駅あらいが重点「道の駅」に選定され、平成27年2月26日に東京の砂防会館で入村妙高市長が太田国土交通大臣から重点「道の駅」の選定証を受け取りました。

平成27年度は、整備方針の立案のため、妙高市を中心に県、国などの関係機関による協議会を設立。平成27年6月26日に第1回道の駅あらい整備計画検討会を開催しました。今後、整備方針を決定し、順次、整備を開始します。

H27.2.26　選定証授与式

H27.6.26　道の駅あらい整備計画検討会

重点「道の駅」制度の概要

重点「道の駅」選定箇所（全国モデル「道の駅」,重点「道の駅」